整備効果

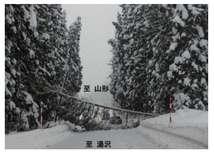
01 冬期の通行信頼性の確保

広域迂回が解消され、住民生活や経済活動の安全や信頼性が向上します。

当該地域は、特別豪雪地帯に位置づけられ、冬期に通行止めが多く発生し、広域迂回が余儀なくされるとともに、降雪時には運搬排雪等に伴う交通規制などにより、所要時間が約1.3倍※になっています。

東北中央自動車道の整備により、所要時間の短縮、広域迂回の解消が図られ、冬期の速達性向上が期待されます。　※冬期最大:88分、最小:67分より算出

▼令和2年12月18日 国道13号
降雪による倒木状況



▼令和2年12月18日 国道13号
倒木による通行止めの状況



▼整備による時間経過および広域迂回解消(新庄市～湯沢市)



出典：供用区間はETC2.0プローブデータ（通常：R3.10、冬期：R4.2）
供用区間でETC2.0プローブデータが無いところは規制速度
その他事業中区間（未供用）は80km/hで算出

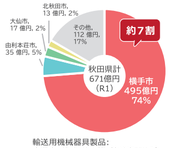
02 輸送信頼性・速達性の向上

輸送の信頼性や速達性の向上により、地域の経済活動を支援します。

横手市の輸送用機械器具製品の製造品出荷額は、県内でも約7割のシェアを占め、近年増加傾向にあります。これら製品の部品を新庄市の工業団地の企業から日常的に国道13号を利用して輸送されていますが、冬期は通行止めや雪の影響で到着が遅れるなど、信頼性、速達性が課題となっています。

東北中央自動車道の整備により、輸送信頼性・速達性が向上し、円滑な部品調達など経済活動を支援します。

▼秋田県の輸送用機械器具製品の
製造品出荷額の内訳



輸送用機械器具製品：
自動車、船舶、航空機、鉄道車両及びその他の輸送機械器具（自転車など）を示す
出典：工業統計

▼自動車部品の搬送ルート



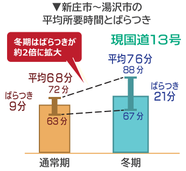
03 周遊観光の支援

山形県最上地方～秋田県南地域の周遊観光を支援します。

山形県最上地方～秋田県南地域は、多くの観光資源を有するものの、両県間の観光流動は東北地方で最も少なく、特に冬期は走行環境の悪化とともに、所要時間のばらつきが増加しています。

東北中央自動車道の整備により、両県間のアクセス利便性向上によって、沿線観光地の周遊観光の促進が期待されます。

▼新庄市～湯沢市の
平均所要時間とばらつき



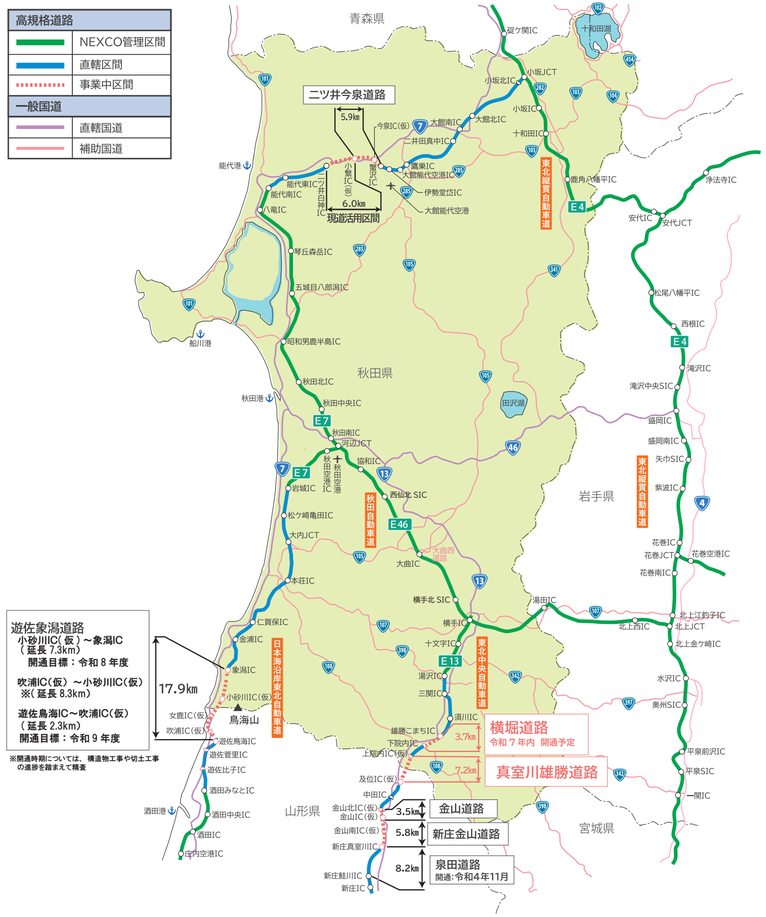
出典：ETC2.0プローブデータ
（通常期：R3.10、冬期：R4.2）

▼湯沢雄勝地域の主な観光地



資料：秋田県観光統計(R2)、山形県観光者数調査(R2)、ゆざわジオパーク・ジオサイトマップ

秋田県の高規格道路ネットワーク



国土交通省東北地方整備局
湯沢河川国道事務所

〒 012-0862　湯沢市関口字上寺沢 64-2
TEL 0183-73-3174　FAX 0183-73-3179
URL　http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/

E13 東北中央自動車道

真室川雄勝道路

横堀道路



横堀地区から山形方面を望む

国土交通省東北地方整備局
湯沢河川国道事務所

事業概要

東北中央自動車道は、福島県相馬市を起点とし、福島市・米沢市・山形市・新庄市・湯沢市等を経由して、秋田県横手市で秋田自動車道に連結する総延長約268kmの高規格道路です。東北における高規格道路網を形成し、地域間交流や緊急時の代替路としての機能を担う路線です。

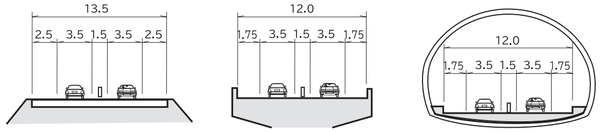
真室川雄勝道路および横堀道路は、東北中央自動車道の一部を構成し、山形・秋田県境を結ぶ区間であり、雪に強い道路ネットワークの構築、都市間所要時間の短縮や、冬期周遊観光の支援などの効果が期待されます。

事業区間の計画概要

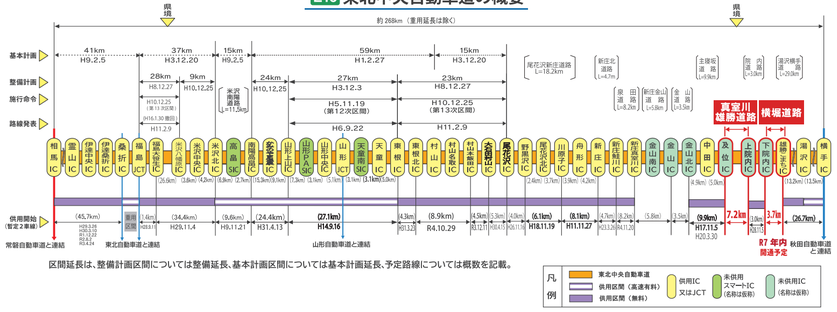
真室川雄勝道路	
起　　点	山形県最上郡真室川町大字及位（のぞき）
終　　点	秋田県湯沢市上院内（かみいんない）
延　　長	７．２ｋｍ
道路規格	第１種第３級
設計速度	８０ｋｍ／ｈ
事　業　化	平成２９年度
用地着手	令和 元 年度
工事着手	令和 元 年度

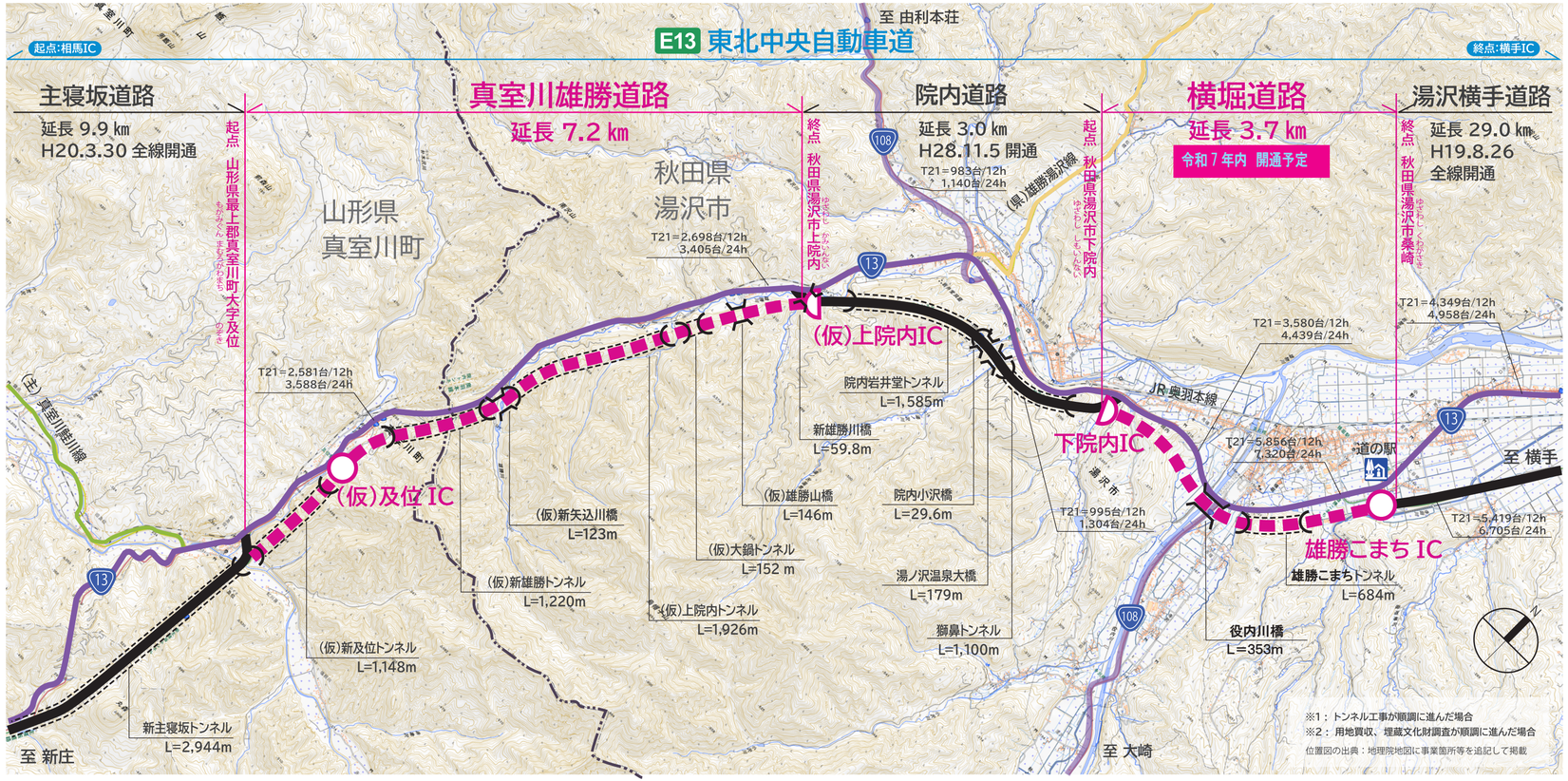
横 堀 道 路	
起　　点	秋田県湯沢市下院内（しもいんない）
終　　点	秋田県湯沢市桑崎（くわさき）
延　　長	３．７ｋｍ
道路規格	第１種第３級
設計速度	８０ｋｍ／ｈ
事　業　化	平成２７年度
用地着手	平成２８年度
工事着手	平成２８年度

標準幅員



E13 東北中央自動車道の概要





IC 形状概要図

